

「環境学から俯瞰するエネルギー問題」

日時：平成27年10月9日（金）13:00～17:15

場所：日本学術会議講堂

（東京メトロ千代田線「乃木坂」駅⑤出口徒歩1分）

開催趣旨：エネルギー問題の重要性は広く認識されてきており、特に震災後には国民の多くが共有できる持続可能なエネルギー利用社会の将来像への希求が高まっている。一方で、エネルギー問題を考えるにはエネルギー技術の多様化や一次エネルギー源をめぐる情勢の流動性、各エネルギー技術の持つ特性と相互関連など、多くの視点からの検討が必要であり、エネルギー源や各エネルギー技術の持つリスクとメリットの評価も多岐にわたり、俯瞰的な把握が困難である。このような状況をふまえ、本シンポジウムでは環境学からの俯瞰をキーワードとしてエネルギー問題の主要課題のいくつかについての講演とパネルディスカッションを行い、持続可能性と社会実装性の点でリアリティのあるエネルギー社会について考えることを目的としている。

プログラム

13:00 開会挨拶 大政謙次（東京大学教授、学術会議第2部会員・副部長）

13:10～13:50 基調講演「再生可能エネルギーへの期待ならびにその社会的実装可能性と課題」

小宮山宏（株式会社三菱総合研究所理事長、学術会議連携会員）

13:50～14:20 「清潔・安全・便利な社会環境を維持する為の主要エネルギー資源生産・輸送の安全保障」

奥村直士（日本安全保障戦略研究所上席研究員）

14:20～14:50 「環境の視点から見たエネルギー社会」

柏木孝夫（東京工業大学特命教授、学術会議連携会員）

14:50～15:10 休憩

15:10 パネルディスカッション

モデレータ 藤岡恵子（株式会社ファンクショナル・フルイッド、学術会議連携会員）

パネリスト 奥村直士、柏木孝夫、吉田英生（京都大学教授）、青柳みどり（国立環境研究所社会環境システム研究センター、学術会議連携会員）、古山通久（九州大学教授）

17:00～17:15 閉会挨拶 阿尻雅文（東北大学教授、学術会議第3部会員）

問合せ先：化学工学会事務局 kankyo_sec@scej.org

お申し込みはこちらから：http://scej-main.sakura.ne.jp/kankyo_sympo/

主催：日本学術会議環境学委員会環境科学分科会

共催：公益社団法人化学工学会、日本農業工学会

参加費：無料（どなたでも参加できます）

